

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	大塚地区	回数	第5回
日時	2022年3月27日(日) 13:30-16:30		
参加人数	16名		

1. 地区の将来にとってふさわしい案

(1) A案

【期待すること・選択した理由】

小学校と児童クラブの集合は、敷地内の移動ですむのでよい。

- ・小学校に児童クラブがあれば、小学校の授業後にそのまま行けるので良い。(全案共通)

【懸念・付帯事項】

機能が1か所に集中しすぎると窮屈になり、不便な面も生じてくる。

- ・全部の施設が集まるのは機能が集中しすぎていて窮屈になるのではないか。
- ・全ての機能が1か所に集まることで逆に不便な面も出てくるのではないか。集約しすぎるのはどうかと思う。

様々な機能が中学校の敷地に集合されると、西大塚の方にとっては利用しづらくなる。

- ・いろいろな機能が一つの敷地に集約されると、西大塚の方々にとっては利用しづらくなるのではないか。

現在の中学校は地域の東端なので、集約するなら、せめて小学校の敷地にしてほしい。

- ・中学校敷地は東端で西から最も遠い。集約するなら、せめて小学校敷地にしてほしい。

(2) A'案

【期待すること・選択した理由】

公民館と保育園機能の集合は評価できる。

- ・公民館と保育園機能が集合している点が評価できる。(D'案共通)
- ・公民館と保育園の組み合わせは、生活リズムも合って、助け合える可能性がある。現に地域で保育園の芋ほり活動のサポートをしているのだが、大人にとっても元気をもらえて嬉しい。

公民館は、小中学校と離れ、保育園と一緒にの方がよい。

- ・公民館がどのような機能と集合するかが配置の肝になる。子どもの世代の面では、公民館は小中学校と離れ、保育園と一緒にするのが良いと考える。(D'案共通)

小学校、中学校が小学校敷地に集まる点は評価できる。

- ・大塚小に小学校や中学校が集まる点は評価される。

【懸念・付帯事項】

ご意見はありませんでした。

(3) B案

【期待すること・選択した理由】

中学校よりも海拔が高く、地区の中心に近い小学校敷地の方が、集約する場所として好ましい。

- ・小学校敷地に集合するか、中学校敷地に集合するかという点では、小学校の方がやや海拔が高く、周辺の状況からも小学校の方が安心できる。
 - ・小中学校の間には川があることに加え、中学校に比べれば小学校の方がより中心に近いため、集合する場合の敷地は小学校の方が好ましい。
- ※ 市の海拔表記は、小学校・中学校ともに9mです。

【懸念・付帯事項】

地域バランスを考えると大塚西保育園を残すことも考えられるが、安全面を考えると保育園は海から離れていた方がよい。

- ・大塚地区の地域バランスを考えると大塚西保育園を残すことは理解できるが、安全安心面を考えると少しでも海から離れておいた方がよい。

(4) B'案

【期待すること・選択した理由】

高台にある大塚保育園なら、自力で避難できない園児の安全を確保できる。

- ・園児の保護を第一に考えたいという視点から、大塚保育園の位置に保育園が集合するので好感をもてる。
- ・保育園がより高い位置にあるのは安心できる。
- ・唯一高台にある大塚保育園は安全な避難場所として残す必要があるのがよい。
- ・高台にある大塚保育園なら、自力で避難できない小さな子どもの安全を図れる。
- ・大塚保育園が高台にあることは、安全安心面（高潮等）で良いと思う。

大塚保育園は、大塚西保育園と比べて道路アクセスがよい。

- ・大塚保育園は高台で安全な上、渋滞しがちな大塚西保育園に比べて道路アクセス条件がよい。
- ・大塚西保育園の敷地は車で使いにくい印象があり、大塚保育園に集約するのがよい。

大塚保育園は、隣接する福祉施設との連携も期待できる。

- ・大塚保育園は、隣接する福祉施設との連携も期待できる。

【懸念・付帯事項】

災害を想定し、西大塚に配慮した施設配置が必要。

- ・B以外は、西大塚の住民に対して災害時の課題が残る。
- ・西大塚の住民の災害時の課題に対して、せめて中心である公民館の土地には施設があったほうがよい。
- ・西大塚にも施設は何かあったほうが良いと考える。

【新たな案の提案】(B´派生案)

保育園は大塚保育園に統合、公民館は現状維持、小中学校を大塚小学校に集約する。

- ・B´案が比較的よいが、公民館敷地は駅に近く、様々な人が立ち寄りやすい場所なので、公民館を小中学校に集合するよりも、今の位置で建て替えるようにできると一番よい。
- ・お年寄りの利便性、アクセスし易さを考えると、公民館を現地に残すC案が良いが、保育園は未就学児の避難リスクも考え、小学校敷地よりも高台にある大塚保育園の場所に移る案が良いのではないかと考える。
- ・保育園を大塚保育園の敷地に集合させ、公民館を現状維持する案はとても良いと思う。

(5) C案

【期待すること・選択した理由】

公民館は地域の中心にある方がよい。

- ・公民館がしばらく活用されるので現実的にいいプランだと考える。公民館はみんなの場所なのでやはり中心にあるのがいい。

公民館を現在の場所に残したとしても、小中学校に分室機能を併設すれば互いに補完し合ってどちらも利用できる。

- ・公民館を現在の場所に残す場合でも、小中学校にも公民館的なサブの施設を併設すればどちらも利用されやすい。(D´案共通)

【懸念・付帯事項】

施設の集合先は、敷地に余裕があるため現在の小学校よりも中学校のほうが適しているのではないかと考える。

- ・地域バランスや通学のし易さを考えて、小学校敷地に機能を集約していることはわかるが小学校より校庭の広い中学校の方が敷地に余裕もあり集約に適しているのではないかと考える。

静かな学習環境を確保するため、小学校と中学校は別の敷地がよい。

- ・小学校、中学校は別がいいのではないか。成長の過程において小年代が一緒なのはどうか？特に中学3年生にもなると受験を控えており、小さい子（小学生）と一緒に敷地にあることが賑やかすぎて嫌だという子どもの意見も聞いている。（全案共通）

(6) D 案

【期待すること・選択した理由】

保育園の敷地が広くなり、災害時に園庭に集まることができる点で適している。

- ・Dは保育園の敷地が広がるので、園庭に集まる場があるという面では、災害時に適していると感じる。

※ 実際の敷地面積は、大塚保育園=4, 583㎡ 大塚西保育園=3, 544㎡
大塚公民館=1, 941㎡（隣接する駐車場含む）となります。

【懸念・付帯事項】

保育園が線路より南側にあるので、災害時に園児が避難できるか不安がある。

- ・線路より南なので、園児が災害時にしっかり避難できるかは少し不安である。
(B'案を除く全ての案で共通)

(7) D' 案

【期待すること】

公民館は地域の中心にある方がよい。

- ・公民館はみんなの場所なのでやはり中心にあるといい。
- ・公民館の立地は地区中央で駅に近く、利便のよい位置なので、できるだけ今の位置で建て替えをしてほしい。

周辺に空いている敷地もあり駐車場用地として買収できる可能性もある。

- ・駐車場の確保が難しいが、周辺の産子山や他の空いている敷地もあるため、買収できる可能性もある。

【懸念・付帯事項】

公民館、保育園の駐車場確保が難しい。

- ・駐車場の確保が難しい（ハード面での懸念）。

公民館と保育園の集合は、送り迎え等で車両の交通量も増えるため、駐車場や動線の確保など工夫が必要である。

- ・公民館と保育園を同じ敷地にする場合、送り迎え等交通量も増えることから、子どもや高齢者の安全面を考え、駐車場の確保や出入口等（利用動線など）工夫が必要となる。

公民館と保育園が複合する場合、公民館機能は上階になってしまうが、エレベーターがあれば気にならない。

- ・D'案について、公民館敷地で保育園と複合となると、公民館は3階など、上階になってしまうが、地域の交流拠点としては、エレベーターがあれば気にならない。

(8) その他、施設配置に関するご意見

三河大塚駅の裏に保育園を設置するのはどうか。

- ・駅裏の利便性ある場所に保育園考えてもいい。

駅から近いので、公民館を現在の児童館敷地に移転するのはどうか。児童館に公民館を補完する機能を持たせるのはどうか。

- ・大塚公民館よりも現在の児童館を広くして公民館機能を補完させた方が良いのではないかな。公民館のサテライト機能として、児童館やその跡地を利用することも可能ではないかな。
- ・公民館については小学校敷地ではなく、現在の児童館敷地に移転させるのはどうか？駅から近く高齢者も利用し易い。現在コミュニティルームで国際交流等も行っており、現在の建物で公民館活動を行うことも可能ではないかな。

(9) 全ての案に共通する付帯事項（再配置を進めるうえで配慮すべき事項）

①多様な人々との交流

バリアフリーやユニバーサルデザインなど誰にでもやさしい施設にしてほしい。

- ・公民館はバリアフリーにするべきである。
- ・新しく整備する公共施設には、県の「人にやさしいまちづくり条例」を尊重して、バリアフリーやユニバーサルデザインをしっかりと実現してほしい。

公民館は名称変更や活動内容など、ソフト面の対策を考えたい。

- ・公民館の利用が減っているので、名称を変えたり、若い人が興味を持つ内容にしていくなど、ソフトの対策を考えたい。
- ・「公民館」という名称を、若い世代が関心ある名称に変えることだけでも利用されやすくなる。
- ・公民館は講座や催事など目的があるから利用される。だから交流が生れるには場所を複合化するよりも催事など運営ソフト面での工夫が重要になる。無理に複合化しなくてもソフトの工夫で交流は十分にできる。

②子育てしやすい環境づくり

ご意見はありませんでした。

③子ども達の居場所づくり

小学校と中学校を集約する場合、静かな学習スペースを確保してほしい。

- ・小中を集約する場合は、静かな学習スペースを確保してほしい。

④生涯現役でいられる地域づくり

ご意見はありませんでした。

⑤安全・安心

地区内の地域集会施設は、相楽ひめはる会館と同様に届け出避難所にとよい。

- ・西大塚区民会館は、相楽の「ひめはる会館」と同様に、届け出避難所などにとよいのではないだろうか。
- ・西大塚地区にある“区民会館”や“いこい会館”は、相楽の“ひめはる会館”と同時期に出来た施設であり、ひめはる会館と同じように届け出避難所にすべき。“しまの集会所”も同様な考えである。

災害時の避難、利便性を考えると、施設は集約するより分散させた方がよい。集約する際は動線の確保や周囲の交通整理などが必要になる。

- ・避難所はリスク面を考えると集約させるより分散させた方がよいのではないか。
- ・小中学校や保育園など機能を一ヶ所に集約させることは、利便性の一方で不便性もある。一ヶ所に集約した場合には、駐車場確保が課題になると考える。交通量も多くなり、安全安心面などが懸念されるため、出入口などの動線確保や交通整理が必要。

西大塚の方は避難場所として大塚西保育園跡地や西広場を利用、また蒲郡東高校へ避難する。

- ・西大塚の方は緊急的に近くの緊急避難場所に行き、そのあとは蒲郡東高校へ行くのだと思う。
- ・西大塚の方の災害時の避難場所として、跡地利用などがあると思うが、大塚西保育園・あるいは西広場は緊急避難場所として利用できるのではないだろうか。

保育園の送迎を考えると交通の安全性は考慮したい。

- ・送迎の近くに広い道ができるのは交通量が増えるため不安（金野線）であるため、施設配置の計画に入れることができなくても、金野線や周辺の交通の安全性については考慮すべきである。

通学の安全性を確保するため、道路の安全対策を講じてほしい。

- ・施設を再配置する機会に、各施設にアクセスする道路の安全対策を講じてほしい。特に、旧道は交通量や大型車が多い一方で道幅が狭く歩道が十分でない。沿道には小中学校や公民館など主要施設がある。通学の安全は確保してほしい。

⑥ 利便性の向上

通学距離が長くなる場合、自転車やくるりんバスを利用し、交通アクセスの改善を考える。

- ・通学距離が遠くなり通いづらくなることに関しては、自転車やくるりんバス等を通学に活用することで交通アクセスの改善が可能ではないか。

公民館は若い世代にも利用されるよう、学習室の整備、コンビニとの複合化、夜間利用の拡充など工夫をするとよい。

- ・公民館が高校生など若い世代にも活用される施設になってほしい。中高生の学習室を充実させる。コンビニと複合する。夜間も利用できる。などの工夫があるとよい。(D´案共通)

⑦ 効率的な施設配置

保育園の跡地には、私立（民間）保育園による活用も1案である。

- ・保育園の跡地については、別の保育園（私立）による同種の活用も1つの案ではある。

駅前や利便性の良い跡地は利益を生み出すような土地利用を考える必要がある。

- ・コスト面の問題は重要である。限られた資源をどう有効的に使うかを考えた場合、駅前や利便性の良い跡地は、その土地から利益を生み出すような土地利用を考える必要がある。
(例) 立体駐車場

公民館の土地は地域の共有財産として有効に活用するのがよい。

- ・公民館の土地は大塚奉公社で持っているもので、何も使わないというのは良くない。地域の共有財産として有効に使うべきだと考える。
- ・公民館の解体はこれまでの地域の土地での施設を守る、という観点で慎重に進めるべき。

2. その他

【跡地利用】

跡地を公園やスポーツができる場所として利用するのはどうか。

- ・大塚には公園が少ない。特に市街地にほとんどなく、再編で生じる跡地を公園に活用してほしい。
- ・小学校や中学校の敷地などまとまった跡地が生じるなら、スポーツができる公園で活用すると若い世代も使えてよい。最近ではスケートボードを練習する場所がほしいと聞く。

大塚西保育園が移転した場合、跡地にはスポーツができ、避難場所にもなる大屋根付きのオープンスペースを整備したい。

- ・大塚西保育園が移転した場合の避難所等の確保も含めて大屋根付きのオープンスペースがあると良い、大雨でも逃げられ、避難所やスポーツも利用しやすい。

小中学校敷地を利用する場合、駐車場確保のため、市営大塚住宅の敷地を活用できないか。

- ・今の小中学校の敷地のみでの利用を考えると駐車場不足は否めないが、他の敷地で解決可能ではないか？例えば市営団地老朽化もあるため、敷地検討の予知はないのか。（←高潮想定区域でもあり盛土等も必要なことは理解している。）

【新規整備】

大塚駅に駐車場を確保するため、駅裏にロータリーを整備し、地下道でつなぐ案を考えている。

- ・駐車場の関係で、大塚駅裏をロータリーにして地下道作って、駐車場確保案を考えている。

3. 今後の進め方

少子高齢化の中で若い世代がこの地に長く住みたくなるかどうか重要である。若い世代の意見を聞くことも大事である。

- ・少子高齢化の中で長い目でみると若い世代がこの地に長く住みたくなるかどうか重要。若い世代の意見を聞くことも大事である。

施設の再編については、住民の意見も確認しながら進めてほしい。

- ・施設が再編される機会に、施設運営などソフト面での改善についても住民の意見を十分に聞いて行ってほしい。
- ・この会の結果については、学区の公式の場である区会などにも確認して進めてほしい。

再配置の計画づくりは、地域課題を改善できるようなまちづくりの視点で行ってほしい。

- ・今回の施設再配置では、上記のような地域課題を同時に改善できるような総合的まちづくりの視点で取り組んでほしい。

【質問】

小学校と中学校の体育館が避難所となるはずだが、どちらか一方になった時にキャパシティは足りるのだろうか？

・小学校と中学校の体育館が避難所となるはずだが、どちらか一方になった時にキャパシティは足りるのだろうか？

【回答】

現在の施設における避難所収容人数を、大塚小学校で330人、大塚中学校で820人と想定しています。一方、ご指摘のとおり、施設の再編による新設の小中学校では収容人数の減少がみられます。ただし、現在の避難所収容人数の想定では、体育館のみを指定避難所としていますが、施設の再編後は教室部分を避難所として開放することで、収容人員の確保が可能であると考えています。仮に普通教室9教室を避難所とした場合、315人程度の収容増が可能だと考えており、体育館の820人と合わせ、現状と同程度の収容人員が確保できる想定です。

【総括】

大塚地区は、地区の東側に施設が固まっている現状から、どこからでも通いやすい施設配置を望む声が多くあがった。特に、小中学校が東端に配置されており、西側に住む子ども達の通学距離を心配する声が多く、小中学校をより地区の中心に近い小学校敷地に集合する案に期待が集まった。

災害時の安全を確保するという観点からは、子ども達が生活する学校、保育園を海拔の高い敷地に集合したいという意見が多数寄せられた。中でも、保育園児は自力での避難に時間を要するため、高台にある大塚保育園敷地に保育園が集合するB案に期待が寄せられた。

また、公民館は地区の中心かつ大塚駅前に立地しており通いやすいという声も多く、現地で建て替えるC・D案に期待する声があった一方で、小中学校と集合するB・B'、D案に期待する声もあった。

高台に保育園を集合したいという意見と、公民館は現在の立地が便利であるという意見から当初案になかった派生案も提案された。

その他、高齢者の生きがいを育む観点から、公民館利用者と保育園児の交流が可能となるA'・D'案に期待する声もあったが、D'案については駐車場の確保ができないと実現は困難である。

以上のように様々なご意見をいただいたが、交通安全の推進、避難所の確保、子育て環境の整備など、ワークショップ参加者が認識している課題には多くの共通点があった。特に、児童・生徒の通学の安全性や保育園児を災害から守るなど、地区の将来を担う子ども達の目線での意見が多くだされた。